梅雨前に改めて確認を！

近年では日本各地で自然災害が多発し、大きな被害が発生しています。
小郡市でも豪雨により、平成30年から毎年のように浸水被害が発生しています。
日頃から避難行動や非常持出品のことを家族や地域で考えておくと、
実際の災害時、スムーズに避難行動ができます。
今号では、「物の準備と心の準備」の大切さをお伝えします。

問防災安全課防災係　☎73-9109

物の準備

大雨による災害は、刻一刻と状況が変化し、気づいた時にはすぐに避難をしなければならないことも十分考えられます。
すぐに持ち出せる非常持出品を準備しましょう。

非常持出品の用意

両手が使えるリュックサックなどに必要な物をコンパクトにまとめましょう！

生きていくために欠かせないもの

- 食料
- 飲料水
- 常用薬　など

乳幼児がいる家庭

- 使い捨て哺乳瓶
- 離乳食
- 子ども用紙おむつ
- おしりふき
- 抱っこひも
- 子どもの靴

避難所生活で必要となるもの

- ティッシュやトイレットペーパー
- ラップ
- 携帯用トイレ
- 救急用品
- 歯ブラシ
- ごみ袋
- 携帯充電器
- ランタン
- 使い捨てカイロ
- 着替え
- 電池
- タオル
- など

高齢者がいる家庭

- 大人用紙パンツ
- お薬手帳のコピー
- 補聴器
- 吸水パッド
- 持病の薬
- 杖
- 介護食

心の準備

災害は家にいるときに起きるとは限りません。
状況に応じてどのように行動すればよいか、イメージしておきましょう。

家族で計画を立てておく

通勤・通学時に水害や地震が起きると、帰宅困難になることがあります。
事前に家庭で、ハザードマップを確認し、災害時の連絡手段や避難場所を共有しておきましょう。

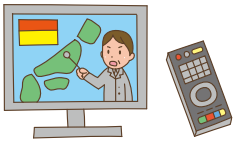
周囲の危険度を知っておく

家の周辺（河川やせき、ため池、道路状況）を事前に調べておきましょう。市ホームページから道路の冠水履歴を確認できます。

大雨時の道路冠水警戒・注意マップ

こまめな天気情報の収集

大雨の予報は変わることも予想されるので、生活圏内や現在地における天気情報をこまめに確認しておきましょう。



「防災・安全に関する情報」の事前確認

市ホームページのトップページに「防災・安全に関する情報」を掲載しています。
災害情報の集め方や災害への備えを確認しておきましょう。

災害への備え

災害情報と、とるべき行動

市は、河川の水位や気象情報などから、危険と判断した区域に対して避難情報を発令します。発令された情報がどのような内容なのかを理解して、どの避難情報が出たタイミングで自身や家族が避難するのか考えておきましょう。高齢者など避難に時間のかかる人は、**警戒レベル３「高齢者等避難」**で安全な場所に避難をしましょう。

警戒レベル	避難情報など	とるべき行動
5	緊急安全確保	すでに災害発生。命を守るため身の安全を確保。
4	避難指示	安全な場所に速やかに避難。
3	高齢者等避難	高齢者等は避難を開始。その他の人は避難準備。
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	避難に備え、ハザードマップなどで避難行動を確認。
1	早期注意情報（気象庁）	災害への心構えを高める。

様々な情報収集の方法

近年は、インターネットを使って、誰でも簡単に災害情報を収集できます。事前に登録しておくことで、いざという時に役立ちます。

災害情報の集め方

緊急速報メール（エリアメール）

ふくおか防災ナビ まもるくん

Yahoo!JAPAN 防災速報アプリ

市公式LINE

“水のう”で下水の逆流対策を！

大雨時は雨水の流れ込みによる下水道管の急激な水位上昇により、下水が逆流しトイレや浴室の排水口などから水が噴き出ることがあります。「ゴポゴポ」と異常な音が聞こえてきたら危険信号。

そんな時、簡単にできる対策として、「水のう」の設置が有効です。また、大雨時には洗濯や風呂などの大量の水を下水道に排水するのを控えることも有効です。雨が収まってしばらくしてから排水するようご協力お願いします。

水のうの作り方

大きめ（45リットル程度）のビニール袋を二重に重ね、半分程度（20リットル程度）の水を入れます。中の空気を抜きながら、口をしっかりと縛ったら完成です。

※トイレに設置するときは、便器内の水があふれることがありますので、様子を見ながらゆっくりと設置してください